

こども自然探検隊



小学校1年生から6年生までの16名が参加し、年5回開催しています。

今年度は、「平尾山登山」「工作体験」、「防災体験」とさまざまな活動をしてきました。

毎年山登りから事業が始まるのが恒例となっており、今年は平尾山に挑戦しました。子どもたちは元気いっぱい、楽しそうに登っていました。

工作体験では、絵手紙作りやボードコール作り、ペットボトル工作、木工細工と盛りだくさんな一日と



実際に体験することで、福祉と防災の大切さを学ぶことができました。

なりました。

今後も自然や人との関わりを大切に活動を目指します。

●防災体験
社会福祉協議会共同開催
「自分の身を守り、仲間を助けよう」をテーマに町社会福祉協議会と共催事業を実施しました。

午前中はアルミ缶を加工してご飯を炊く「サバイバル飯」作りに挑戦しました。子どもたちは「熱い」火が消

えちゃった」と口にしながら、どうすれば上手く炊けるのかを考え活動していました。火の扱いには危険も伴いますが、学ぶことも多く、とても有意義な活動となりました。

午後は御代田町身体障害者福祉協会に協力いただき、福祉避難所での活動を実施しました。福祉体験では3つのブースに分かれ、アイマスク体験、車椅子体験、段ボールベッドとポータブルトイレの活用方法を学びました。

防災体験に協力いただいた皆さんの声



公民館が主催する「こども自然探検隊」の防災体験企画は、御代田町社会福祉協議会も携わり共同実施しました。子どもたちの「生きていくための力」を育むとともに、地域の中で支えあう視点を養うには、多様な交流や体験が必要です。

今回はコロナ禍ということもあり、制限された中での実施ではありましたが、今後とも公民館事業との連携を強化していきたいと思っています。

(御代田町社会福祉協議会)



御代田町 身体障害者福祉協会 飛松武志

こども自然探検隊の防災体験教室では午後に体験学習を実施し、自分は「車椅子体験」のブースを担当しました。子どもたちは、車椅子に乗ってみるのは初めてというので、普段から身近に車椅子がある環境にいる子は少ないという印象でした。

全員に乗車と介助両方で坂道と段差の乗越え体験をしてももらいました。感じたことは、いざというときに一度は体験したということ、がなによりも自信となり、他人を助けることになるのだと思いました。

(御代田町)

夏休みこども講座 「ゴム銃をつくらう」



小学生を対象とした夏休み講座を開催しました。

「ゴム銃をつくらう」と題して参加者を募集したところ、35名の参加がありました。日本ゴム銃射撃協会御代田支部長の沼田清先生が講師を勤め、ゴム銃キットを事前に作成いただくなど、入念な準備をしてくださいました。

子どもたちは先生の説明をよく聞



いて、分からない部分は積極的に質問しながら集中してゴム銃を作りました。

完成後は、作ったゴム銃で紙コップを的にして射的の練習をしました。失敗を繰り返して構え方や狙う場所などを試行錯誤し、だんだんと的に当たるようになりました。上手な子は周りの友達にコツを教えて助けてあげた様子も見られました。



サロンコンサート

毎月第4土曜日の午後5時30分から、エコーホールにて無料のサロンコンサートを開催しています。

4月は、板谷ご夫妻によるピアノと歌の演奏で、スウェーデンの伝統的な弦楽器「ニッケルハルバ」の音色も披露されました。

6月は、フルート奏者の芹川千種さんから4



ず口ずさみたくなるような演奏が印象的でした。

7月は、よりまりシスターズによるバイオリンとピアノの演奏で、「カントリロード」や「紅蓮華」など小さなお子さんも楽しめるような内容でした。

1月には、これまで出演いただいた皆さんによる新春コンサートを予定しています。



親子ふれ愛料理教室



昨年は教室の全日程が中止となったため、今年は例年の倍となる90名の申し込みをいただきました。今年度のテーマは「日本の郷土料理〜日本を料理で旅しよう〜」です。

7月の教室は十分な感染対策をとって開催しました。メニューは「関西地方の料理のお好み焼き」、町内の農家さんからとても柔らかくておいしいキャベツを提供いただき、各テーブルごと1個を使って、サラダやスープもあわせて作ることができました。